

会 議 要 旨

会 議 の 名 称	平成30年度 第4回川越市文化財保護審議会
開 催 日 時	平成31年1月18日(金) 14時 開会 ・ 16時 閉会
開 催 場 所	川越市立博物館 会議室
議 長 (会 長)	山野会長
出席委員(人数)	大久根委員、小久保委員、酒井委員、佐藤委員、羽生委員、馬場委員、 牧野委員、松尾副会長、水上委員、山野会長 (10名)
欠席委員(人数)	林委員 (1名)
傍 聴 者	0名
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 挨拶 3 会議の傍聴について 4 報 告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 蔵造り資料館耐震化工事について (2) 初雁公園基本計画(案)について 5 次回の予定 6 その他 7 閉 会
そ の 他	4(1) 担当課 博物館 4(2) 担当課 公園整備課

議事の経過

報告(1) 蔵造り資料館耐震化工事について

(博物館より説明) 元請のエムテックが10月1日に東京地方裁判所に再生手続きの開始の申し立てを行い、工事が中断した。10月21日にエムテックから市に契約解除の通知があった。現在は、建築住宅課と博物館で工事途中となっている現場の安全管理をするとともに、資材のリース業者との調整、新たな工事業者の選定を行っている。

【意見・質疑応答】

○引き受けてくれる業者は見つかりそうか。

(回答：博物館) 現在建築住宅課が市内業者に話をしているところだ。

○旧川越織物市場に続き蔵造り資料館も工事中断となったが、市の業者選定基準はどうなっているのか。しっかりチェックしてほしい。

報告(2) 初雁公園基本計画(案)について

(公園整備課より「川越市初雁公園基本計画(案)」について説明)

【意見・質疑応答】

○現在三芳野神社の参道が川越城の堀だった場所を真っ直ぐになっているが、この復元はしないのか。

(回答) ほとんどが神社の所有地のため参道については予定していないが、堀については遊具広場、駐車場の部分で遺構表示をする計画となっている。

○本丸御殿前に山車があるイメージ図があるが、ここで山車揃えを行えるようになるのか。

(回答) 歴史的には城内に山車が入ることはなかったのだが、公園の構造的には山車を入れられるようになっている。

○富士見櫓の復元図が詳しく載っているが、これは実現可能なのか。

(回答) 現時点の技術では土塁の土留めが難しく、県指定史跡川越城跡の中で杭を打つことができないため、短期的には困難である。初雁公園基本計画審議会で、将来的に可能性があるなら外すべきではないという意見があり、計画には入れたものである。

(回答：公園整備課) 富士見櫓は中長期的な課題で、復元が難しいとなった場合はARやVRなどの方法を取ることも含めて検討していく。短期的には階段の整備などを考えている。

○慶応3年の川越城図では堀が青く水がめぐっているが、水は入れないのか。堀の部分の断面は史実に基づいているのか。

(回答) 川越城の堀は発掘調査した範囲では水堀でなく空堀だったのではと考えている。川越城図では中ノ門堀など実際には空堀だったところも青く塗っており、堀の部分の断面を青く表現していると思われる。断面は発掘調査してから決めることになるが、堀底まで見せると広場が狭くなってしまうため、ある程度埋めた状態になる。バリアフリーを考え、駐車場からの移動で支障がない高低差で堀を表現するよう検討した。

○発掘調査は間に合うのか。中世の川越城跡が出ることも十分予想できる。調査に想定以上に時間がかかったり大発見があったりして、この計画図どおりに進まないとなったとき、計画の中止は有り得るのか。

(回答) 来年度予定されている道路付け替え部分の発掘調査で周りの状況をつかみ、効果的な調査を行いたい。

議事の経過

(回答：公園整備課) 短期整備の目標として期限を切っているが、発掘調査により事業が遅れることも想定している。慶應3年の川越城図を基に計画を作っているが、発掘したらまったく違う建物が出てきたなどといったことがあれば、計画自体を変更することになる。

○慶應3年の時代に限るということだが発掘はしないのか。

(回答) 発掘調査は江戸時代以前、上杉持朝以降、北条時代も含めて成果を出す。史跡の整備については時代を統一するのが一般的な考え方のため、一番新しく資料が整っている慶應3年としたものである。

○川越城址整備の基本的考え方の図では、城址公園の中に初雁公園がある二重構造になっているが、初雁公園が城址公園ではないのか。初雁公園の名称が城址公園にはならないのか。

(回答：公園整備課) 初雁公園を中心に、生活道路を回遊して中ノ門堀跡、富士見櫓、博物館などをめぐってもらうエリアを概念的に城址公園とした。公園の名称については、「初雁公園」は都市計画決定された名称である。現在種別が運動公園となっているので、歴史公園に変更する際に併せて名称についても都市計画決定の変更をしたいと考えている。

○今後どのように進めていくのか。

(回答：公園整備課) 2月に6回目の初雁公園基本計画審議会を開き、この計画の答申が出る予定になっている。その後は設計をしていく中で、文化財保護審議会や専門家から意見をいただき検討していきたいと考えている。